

## COVID-19と授乳

Dr. Atiqur Rahman Khan

Maternity and Children's Hospital

母乳は乳児の最良の栄養源であり、母親のコロナウイルス感染が確定している場合、または疑われている場合も同様です。

コロナウイルスに感染した母親であっても適切な予防策(以下に概説します)を講じれば、母乳を与えることができます。

母乳には、呼吸器疾患の予防に役立つ抗体やその他の免疫学的に優れた機能が含まれています。

母乳育児が子供の成長や発達、健康のためだけでなく、長期的に肥満や非感染性疾患を回避するためにも重要である、ということをサポートするエビデンスが蓄積してきています。

### 母乳栄養児のリスクは？

現在までのところ、母乳中にCOVID-19の原因となるウイルスは検出されていません。

しかし、COVID-19は新しい疾患であるため、このエビデンスは限られた研究に基づいています。

公衆衛生局では、このウイルスがどのように拡大するのか、母親が罹患している場合に乳児にどのようなリスクをもたらすのか、調査が続けられています。

限られた研究ではありますが、COVID-19および別のコロナウイルス感染症(Severe Acute Respiratory Syndrome 重症急性呼吸器症候群、SARs-CoV)の女性を対象とした研究では、これらのウイルスは母乳中に検出されませんでした。中国武漢の最近の研究では、妊娠中にCOVID-19に罹患した患者6例から(最初の授乳時に)母乳検体を採取・検査したところ、すべての検体においてウイルスは陰性でした。

しかし、これらの結果を確認するためには、さらなる研究が必要です。

主な感染リスクは、感染した母親の気道と考えられています。

重要なことは、一般的に乳幼児のCOVID-19の疾患経過は重症ではないということです。

## リスクはどのように管理できるか？

最新のWHOガイダンスでは、COVID-19に感染した女性は、本人が授乳を希望するならば、以下の予防策を講じることで授乳は可能としています：

- 1)口と鼻を覆うマスクを着用するなど、授乳中の呼吸器衛生を実践します。
- 2)乳児に接触する前後に20秒間、石鹼と流水で手を洗います。
- 3)母親が接触した部分を定期的に清拭・消毒します。

早期母子接触と完全母乳育児は、両者ともに乳児の成長を促します。

そのため、COVID-19に感染した母親であっても、赤ちゃんを抱き、適切な呼吸器衛生の上で安全に授乳し、肌と肌を触れ合い、母子同室で過ごすことが勧められます。

一般に、WHOでは生後6カ月間は完全母乳による育児が推奨されています。

その後、2歳またはそれ以上の年齢まで、栄養価の高い健康的な食事を与えながら授乳を続けるべきとされています。

## 母親が病気で授乳できない場合、どうすればよいのでしょうか？

COVID-19に罹患しているために状態が悪く、母親が授乳できない場合には、搾乳や、母乳復帰(授乳を完全にしていない期間、または非常に少量の母乳を与えていた期間の後に母乳を再開する行為)、認定を受けた母乳バンクの利用など、他の手段を介して、子供に母乳を安全に与えるための支援を受けるべきです。